

忘れない「3・11」

キャンドルプロジェクト

in
東京

～ 被災地に思いをはせ、日本社会を見つめなおす日に ～

14時46分、東日本を激しい揺れが襲いました。人も、建物も、あらゆるものを飲み込んでいく大津波。息をつく間もなく入ってくる福島第一原発事故のニュースと放射能の恐怖――。

忘れることのできない3月11日から一年。家族や友人を失った被災者の無念の思いは癒えず、厳しい避難生活が続いています。放射能汚染という目に見えない命と健康の危機、原発事故の危険は今なお存在しています。

大震災と原発事故が明らかにした社会のゆがみはなんだったのか。被災者の「いま」を、これまでの日本社会のあり方を、私たちはもう一度見つめなおさなければなりません。

復興に必要なのは消費税増税ではありません。二重債務の解消、失業給付の再延長、給付制奨学金の創設など被災者の生活と生業の回復を支えることです。

「ストレステストをしたから安全」などと原発を再稼動させるのは、原発事故を教訓にしていないに等しいものです。原発をなくす決断をするときです。

あの日から一年となる3月11日、私たちはキャンドルに灯りをともすことにしました。

被災者の深い悲しみを分かち合う追悼の灯り。

被災者とともに復興をめざす新たな決意の灯り。

貧困を拡大し原発依存の日本社会をもたらした政治への怒りの灯りを。

3月11日(日)

17:45～ 新宿・柏木公園 出発集会

(新宿区西新宿7-13)

18:15～ キャンドルデモ START

※雨天の場合も行います。

PROGRAM 1

犠牲者の追悼、復興への決意、原発のない社会への願いをこめてキャンドルを灯します。福島から避難している方のお話を聞き、震災復興や原発への思いを語り合います。

PROGRAM 2

キャンドルとメッセージボードを手に、新宿の街を歩きます。思い思いのメッセージを書いたボードやキャンドルを用意してください。

CONTACT

3・11 キャンドルプロジェクト実行委員会

Mail : candleproject311@gmail.com

Twitter アカウント : @candle311tokyo

※企画は非暴力の精神で行います。参加者どうしの誹謗中傷は行わないようお願いいたします。

